令和４年度

家 庭 教 育 講 座

記 録 集

新宿区教育委員会

令和4年度　家庭教育講座一覧

【幼稚園】

No.	校園名	実施日時	テーマ	講　師	ページ
1	津久戸幼稚園	10月18日（火） 10:00~12:00	賢くなる子のあそびと習慣	花まるグループアルゴクラブ、Think!Think!責任者 中山　翔太	1
2	市谷幼稚園	10月25日（火） 9:00~11:00	良好な親子関係を築くためのアンガーマネジメント	アンガーマネジメントコンサルタント 小尻　美奈	2
3	早稲田幼稚園	11月22日（火） 9:30~11:30	いざという時あなたは動ける！？―救急隊が到着するまでにできる応急処置を学ぶ―	牛込消防署2部救急隊長	3
4	四谷第六幼稚園	7月14日（木） 9:30~11:30	絵本は最幸のコミュニケーションツール	絵本セラピスト協会代表 岡田　達信	4
5	花園幼稚園	9月16日（金） 10:00~12:00	運動遊び・体つくり運動を通じて今親ができること	日本遊育研究所専任講師 澤井　雅志	4
6	西戸山幼稚園	12月13日（火） 10:00~12:00	自分も地球も生きる　お金との付き合い方 ～子ども時代に家庭で教えたいこと～	生活経済ジャーナリスト、子どものお金を考える会代表 あんびる　えつこ	5

【小学校】

No.	校園名		テーマ	講　師	ページ
1	津久戸小学校	11月8日(火) 9:30~11:30	伝統文化の「切り絵」に親しむ～切り絵を通した手作り体験、正しい道具の使い方を学ぶワークショップ～	切り絵作家 冨田　恵美	6
2	市谷小学校	10月4日(火) 10:00~12:00	くじけない子の育て方	花まるグループ進学塾部門スクールFC代表 松島　伸浩	7
3	余丁町小学校	11月5日(土) 10:00~12:00	子ども本来の力を見つけ出す「見守る子育て」	見守る子育て研究所所長・株式会社素材図書代表取締役 小川　大介	8
4	戸塚第一小学校	10月22日(土) 10:00~12:00	時間栄養学を知って今日からできる食事・捕食で子どもの成長をサポート	管理栄養士・早稲田大学時間栄養学研究所招聘研究員 古谷　彰子	9
5	戸塚第三小学校	2月4日(土) 10:00~12:00	完璧を目指さない片付け術	片付けアドバイザー 小関　祐加	10
6	落合第一小学校	10月21日(金) 10:00~11:30	コロナ禍における子育てのヒント	東京未来大学子ども心理学部教授 藤後　悦子	10
7	落合第四小学校	9月30日(金) 10:00~12:00	わたしとあなた　気持ちを尊重できる子どもの育て方―ジェンダー平等について一緒に考えよう―	アウェア認定デートDVファシリテーター 久保　なつこ	11
8	淀橋第四小学校	10月1日(土) 10:00~12:00	お小遣い、ケータイ、スマホ、どう教える？～小学生のうちに教えておきたいお金との付き合い方～	生活経済ジャーナリスト、子どものお金を考える会代表 あんびる　えつこ	12
9	西新宿小学校	11月24日(木) 9:45~11:45	子どもの人権とインターネットの利用	武蔵野大学名誉教授・株式会社情報文化総合研究所代表取締役 佐藤　佳弘	13
10	西戸山小学校	12月10日(土) 14:00~16:00	お小遣い、ケータイ、スマホ、どう教える？～小学生のうちに教えておきたいお金との付き合い方～	生活経済ジャーナリスト、子どものお金を考える会代表 あんびる　えつこ	14

【中学校】

No.	校園名		テーマ	講　師	ページ
1	西早稲田中学校	10月13日(木) 10:00~11:00	保護者のためのLGBTQ基礎知識	弁護士 原島　有史	14
2	新宿中学校	10月15日(土) 14:00~15:00	スクールカウンセラーと連携～スクールカウンセラーのあり方、その役割～	新宿中学校養護教諭	15

【区立子ども園】

No.	校園名		テーマ	講　師	ページ
1	四谷子ども園	12月10日(土) 9:15~11:15	マジックと音楽と絵本のクリスマスコンサート	ミュージシャン・マジシャン・音楽家 大友　剛	15
2	あいじつ子ども園	11月5日(土) 9:30~11:30	荒巻シャケさん親子ライブ	保育シンガソングライター 荒巻シャケ	16

【私立幼稚園】

No.	校園名		テーマ	講　師	ページ
1	私立戸山幼稚園	6月24日(金) 9:30~12:00	今、子育てで大切なこと　これってワガママ？それとも成長？？～子育てのヒントは日常に～	帝京短期大学教授 髙橋　かほる	17
2	私立戸山幼稚園	11月17日(木) 9:30~12:00	自然観察会	プロナチュラリスト 佐々木　洋	17

実施回数２２回　延べ参加人数６９９名

【内訳】

幼稚園　　６回　１５９名
小学校　１０回　２５３名
中学校　　２回　　３５名
区立子ども園　　２回　１１４名
私立幼稚園　　２回　１３８名

賢くなる子のあそびと習慣

津久戸幼稚園

実施日時：令和 4 年 10 月 18 日（火）午前 10:00～12:00　　**会場：津久戸小学校　講堂**

講師：中山　翔太（花まるグループ アルゴクラブ・Think!Think!責任者）

《講演概要》

賢くなる子のあそびと習慣を

1,賢くなる子の幼児期の過ごし方

2,賢くなる子のキーワード

3,これからの時代をどう生きるか

4,子どもがはまるあそびと習慣

これら 4 つのテーマに沿ってご講演いただきました。

4 歳～9 歳の幼児期の大切さ。『なんで？どうして？』を上手に使い、1,2 分で良いのでしっかりと向き合うこと。まずは何でも自分でやってみて自分の頭でたくさん考えさせ、親は管理しすぎずに自立心を育てよう。スマホ、タブレット、ゲームとの上手な付き合い方。自分でルールを決めてしっかり守る。生活の中に遊びがあり遊びの中に学びがあるなど、日常生活に取り入れることが出来る様々なお話をしていただきました。

《感　想》

〇子どもの苦手なこともポジティブな声掛けなどで『好き』に近づけたいと思いました。

〇内容がとても充実しており、経験豊富な先生からのお話をたっぷり聞かせていただきことができ、子育てに日々追われる私にとても響きました。

〇9 歳までの子どもが持つ特徴を知れて、対応するというより見守っていこうと心が楽になりました。

良好な親子関係を築くための
アンガーマネジメント

市谷幼稚園

実施日時：令和 4 年 10 月 25 日（火）午前 9:00～11:00　　**会場：市谷小学校　会議室**

講師：小尻　美奈（アンガーマネジメントコンサルタント）

《講演概要》

１．アンガーマネジメントとは
　怒りをコントロールする概念

２．怒りの感情を理解する
　怒りとは（感情・機能・役割）、怒りの特徴（強度・持続性・頻度・攻撃性）、怒りの原因（べき論）、怒りの生まれるメカニズム（否定的な感情に対し、べき論により着火）

３．衝動のコントロール
　怒りは原因から 6 秒以内、イライラ・怒りの温度（点数）を計測

４．思考のコントロール
　思考のコントロール（3 段階に区分）、境界線を広げる努力、叱るを再定義（内容、技術）

５．上手に叱る
　上手な叱り方、悪い叱り方（態度・ＮＧワード）

６．今日から実践、アンガーマネジメント
　①6 秒やり過ごす②叱る／叱らないを決める③リクエストを伝える

７．質疑応答を 3 回ほど行い、閉会としました。

《感　想》

・アンガーマネジメントとは、怒り、しかったことに対して自分自身が後悔しないことである事を理解することができました。

・怒りには問題となる 4 つの特徴があり、何が自分自身を怒らせるのかという正体を明確にすることの大切さを学びました。

・こうあるべき（自己の概念）に縛られると怒りが生まれやすくなるので、お互いのルールをまずは認識することで怒りに振り回されない方法を知ることができてよかったです。

・今後の育児の参考になり、実践していきたいと思いました。

・1 オン 1 セッションで、怒りを言葉で伝えることに意識して話す手段を学びました。

いざという時あなたは動ける！？
―救急隊が到着するまでにできる応急処置を学ぶ―

早稲田幼稚園

実施日時：令和 4 年 11 月 22 日（火）9:30～11:30　　**会場：早稲田幼稚園　遊戯室**

講師：牛込消防署 2 部救急隊長

《講演概要》

「子どもの予期せぬケガ・事故・病気に保護者が咄嗟に行動するための対処法を知識として持ち、いざという時に行動できる保護者が一人でも増やすことによって子どもたちが伸び伸びと安全に過ごせる環境をつくるため」という目的で講演を依頼しました。

当日は、日頃実際に救命救急に出勤されている牛込消防署の方による現場の「生の声」をお聴きし、保護者からの質問にもお答えいただくことで、身の回りで起きるかもしれないことをイメージし、対処法を知識として得ることができるような流れで行っていただきました。

具体的には、東京の救急についての概要や 119 番に通報を行ったときにどこにつながってどういう対応がなされるかのお話を聴き、救急に関する DVD の上映を適宜挟みつつ、AED を使って実際の操作を体験したり、事前質問や、講演を聴ききつつ出てきた質問にお答えいただいたりしながら、ア学びを深めました。

《感　想》

AED の使い方や胸骨圧迫の必要性、のどに物が詰まった時の対処法なども含め、具体的なことが学べたことはもちろんですが、事後アンケートを見ると、それぞれの参加者が「いざという時」について考える、良い機会になったのではないかと思います。

・AED の講習を受けたことがなかったのでありがたかった

・子どもだけでなく、親も高齢なのでいざという時のためになった

・幼稚園の AED の場所を知らなかったことに気付け、日頃から設置場所などをチェックしておきたいという意識が芽生えた

・ワンオペで何かあった時に不安だったり、実際に救命が必要な場面に遭遇した時にパニックになったりすると思うので、このような機会があって良かった

絵本は最幸コミュニケーションツール

四谷第六幼稚園

実施日時：令和４年７月 14 日（木）午前 9:30～11:30　　**会場：四谷第六小学校ときわぎルーム**

講師：岡田　達信（絵本セラピスト協会代表）

《講演概要》

４～６名のグループで着席し、呼ばれたい名前（ニックネーム等）の名札をつけました。先生が絵本を読み、その絵本やそれぞれのテーマに沿ってワークシートへ記入。その内容をもとに、グループ内で発表し、拍手をし合いました。言いたくないこと、心にとどめておきたいことは無理して言う必要はなく、パスしても良いという先生の言葉にリラックスした雰囲気でグループワークがすすみました。合計 8 冊の絵本を読み聞かせしていただきました。脳科学に基づいた子どもと大人での読み聞かせの効果の違いや絵本の魅力について等、講演していただきました。

《感　想》

普段、子どものために読む絵本ですが、読んでもらうことで絵に集中すると、絵にたくさんの楽しい仕掛けがあることに気付きました。子どものしつこいぐらいの「また読んで！！」「もういっかい！」も有限であることがわかり、今夜にでも時間が許す限り何度でも読んであげたいと思いました。爆笑あり、涙ありの大変楽しく有意義な時間でした。

運動遊び・体つくり運動を通じて今親ができること

花園幼稚園

実施日時：令和４年９月 16 日（金）午前 9:30～11:30　　**会場：花園小学校 第一アリーナ**

講師：澤井　雅志（日本遊育研究所専任講師）

《講演概要》

「幸運動になるか？不運動になるか？は大人しだい！」

○「運動が好きになる、興味を持つ！」ことが先決

○調整力（敏捷性・平衡性・巧緻性）の発達が著しい

○自分の体を守れる術を身につけることが大事！

- 9:30-9:55　　年少組　親子体操
- 9:55-10:05　年少組　保護者に向けての家庭教育講座
- 10:10-10:50　年中組　親子体操
- 10:55-11:15　年中組　年長組保護者に向けての家庭教育講座
- 11:20-12:00　年長組　親子体操

《感　想》

・子どもたちが大笑いしながら楽しんでいる姿をみてとても感動しました。

・澤井先生のお話が面白く、身近なもの（ビニール袋）が遊びに役立つと勉強になりました。

・親子でも楽しむことができ、子どもの園での様子も合わせてみることができたので、とてもいい機会だったと思います。

・下の子がいたので預け先を探すのが大変だったため、託児があればいいなと思いました。

・先生のお話を聞く時間がもう少し多いとよいと思いました。

・とても楽しく参加させていただきました。親子参加型◎です。

自分も地球も生きる お金との付き合い方
～子ども時代に家庭で教えたいこと～

西戸山幼稚園

実施日時：令和４年 12 月 13 日（火）午前 10:00～12:00　　**会場：西戸山生涯学習館　視聴覚室**

講師：あんびる　えつこ（生活経済ジャーナリスト・子供のお金を考える会代表）

《講演概要》

１．はじめに

２．お金の教育が必要とされる背景

①キャッシュレス化の加速　②労働環境の変化　③考え方の変化

３．家庭でできるお金の教育の実践例

＜ポイント１＞　約束を守ることや「がまん」を教える

＜ポイント２＞　希少性を意識した意思決定をさせる

【カレー作りゲーム】

＜ポイント３＞「欲望のコントロール」を学べるようにする

＜ポイント４＞　いろいろな考えに触れさせる

＜ポイント５＞　今あるもので考える習慣をつける

【無人島ゲーム】

４．まとめ　～自分とすべての命が生きるために～

５．質疑応答

《感　想》

・教えるだけでなく「一緒に考えること」を大切にしていこうと思った。

・幼児期からお金の希少性を伝えることの重要性がよく分かった。

・「お金には限りがある」ということを理解してもらえず困っていたので、教えていただいた実践例を早速試してみたいと思う。

・親自身のお金の使い方を見直すきっかけになった。

・キャッシュレスで支払う機会が増えているので、子どもの前では現金払い（見える化）を意識してみようと思う。

伝統文化の「切り絵」に親しむ
～切り絵を通した手作り体験、正しい道具の使い方を学ぶワークショップ～

津久戸小学校

実施日時：令和４年 11 月８日（火）午前 9:30～11:30　　**会場：津久戸小学校　会議室**

講師：冨田　恵美（切り絵作家）

《講演概要》

切り絵体験を通して、伝統文化を知り、さらに親しむために、切り絵ワークショップを開催。国内外で活躍される切り絵作家の冨田恵美先生をお招きし、ご講演を頂きながら、来月訪れるクリスマスをテーマにした切り絵体験を２３名の参加者のもと行いました。当日は、冨田先生より、作り方を学びながら、各自手作り作業に没頭し、作者それぞれの工夫が生かされたすばらしい切り絵作品が生まれました。ワークショップ後半には、冨田先生からただしハサミの選び方や使い方を学び、子どもたちが安全に楽しくハサミを使うためのレクチャーをしていただきました。２時間を通して参加者間の会話も多く生まれ、最後は各自、作品を持ち帰りました。

《感　想》

・手を使って、物作りに集中しすばらしい作品が出来たことがとても楽しく嬉しかった。
・先生のわかりやすい丁寧な説明がとてもよく季節に合った作品作りができて良かった。
・家庭に持ち帰って子どもとまた何か作りたい。
・また是非何かのワークショップを開いてほしい。
・子どもとハサミを使って工作したい。

くじけない子の育て方

市谷小学校

実施日時：令和４年10月４日（火）午前10:00～12:00　　**開催方法**：Zoom

講師：松島　伸浩（花まるグループ進学塾部門スクールＦＣ代表）

《講演概要》

「生きる力をもった子」の育て方について、様々な視点からお話いただきました。まず導入として、今の子どもたちの未来は親世代とは全く違う時代になるということを意識し、それぞれの家での生活の軸の幅を作ることの大切さ、親子のコミュニケーションについてのお話がありました。そして、失敗しても自信をなくさない子を育てるために、（１）間違いや失敗は悪いことではない（２）失敗をバネにできる子にする（３）実践編：子どもの前では二重人格になる（４）家族円満であれば子どもは育つという４つのトピックで具体的な例を挙げながら説明してくださいました。

最後に講師自身が親に感謝していることについてエピソードをご紹介くださり、最後に親に愛された経験は社会に出てからの支えになること、それぞれの家庭にそれぞれの子育てがあるということ、子育ては親育てであるということ。実際に子育てに拘れる期間は長いようで短いということをお話しされました。

《感　想》

・本当に心に沁みる、そして実践的なお話もしていただいて感謝です。たくさんの保護者の方に見ていただきたいと思いました。

・とてもためになるお話で、考え方から具体的な声掛けのやり方まで幅広く教えてくださり、今日から少しずつでも実践したいと思いました。

・仕事や家事に追われ、中学受験を控える子どもにも、急がせることばかりの日々で、改めて日常を振り返る有意義な時間となりました。

・失敗しても大丈夫だよ、と子どもに言ってもなかなか伝わらず、どう伝えたらいいのか悩んでいましたが、ご講演の中で、親側が普段から自分の話や相談をして、信頼関係をきづくとよい、というお話があり、少しヒントを得られたように思います。

子ども本来の力を見つけ出す
「見守る子育て」

余丁町小学校

実施日時：令和４年 11 月５日（土）午前 10:00～11:30　　**開催方法**：Zoom

講師：小川　大介（見守る子育て研究所所長・株式会社素材図書代表取締役）

《講演概要》

1. はじめに（自己紹介）
2. 自分軸を育てる親の３原則

＜１＞認める＝ありのままを受け止める

＜２＞見守る＝子との距離感を選びなおす

＜３＞待つ＝信頼するから結果的に待てる

　期待することの価値→期待されることで現状を乗り越えられる

3. スモールステップの原則→子どもが理解できるレベルまで行動を分解する
4. やる気のメカニズム→やる気とは「やれる気」①作業興奮　②側坐核　③まず５分動く
5. 「親」を幸せに　続けるために→自分自身を「見守る」
6. 質疑応答

《感　想》

　成長することは実は“不快”なことであり、現状バイアスという現状のままでいたいということが成長にはつきものだということを仰っていました。言葉は１割しか役割をなさず、見る・聞く・感じるが９割であること、学習タイプを知れば伸ばし方がわかるなどとても多くのことを学ばせていただきました。

時間栄養学を知って今日からできる食事・捕食で子どもの成長をサポート

戸塚第一小学校

実施日時：令和 4 年 10 月 22 日（土）午前 10:00～12:00　　開催方法：Zoom

講師：古谷　彰子（管理栄養士・早稲田大学時間栄養学研究所招聘研究員）

《講演概要》

●生活習慣を改善する鍵は体内時計

光や食事の制限によって体内時計を調整することで生活習慣が改善できる。平日と休日の睡眠時間の差が大きくなると肥満になりやすく、翌週の疲労感にも影響が出る。また、就寝前のスマホ・テレビも体内時計を乱す要因となる。

●時間栄養学で体内時計を調整する

夕食から翌朝食までの時間は 8 時間以上空けるのが理想的。朝食をとることで朝方のリズムになった子どもは主体的に勉強する傾向が高い。朝食はできれば和食にし、量が少ない場合はもう一品追加することからスタートする。朝はタンパク質+糖質、昼はカリウム不足を補う野菜、夜は血糖値を上げない食品を意識し、カルシウム・食物繊維も積極的に摂取する。

●セカンドミール効果

塾で夜遅くに食事を摂ることになる場合は、塾の前に間食を摂り、帰宅後におかずを中心に食べるなどの分食がおすすめ。夕食後のデザートやジュースは血糖値が上がりやすいため、夕食前の間食に変更する。

《感　想》

・受講者の事前質問や関心に沿った事例が提示され、実生活をイメージしながら学べました。

・なぜそうなのかという根拠を詳細なデータと共に知ることができました。

・どのような改善策があるかを、取組みやすい形で具体的に知ることが出来ました。

完璧を目指さない片付け術

戸塚第三小学校

実施日時：令和５年２月４日（土）午前 10:00～12:00　　**会場：戸塚第三小学校　体育館**

講師：小関　祐加（片付けアドバイザー）

《講演概要》

部屋が片付いていることによる大人、子どもにとってのメリットについてから始まり、既存の片付けや TV で見るような片付け、収納法とは違う、現実的かつ無理なく継続できる片付け術と、それにピッタリ合う収納アイテムについて教えていただきました。

また、部屋の環境が子どもに与える影響にも触れ、子ども自身で片付けできる方法を洋服、学習、おもちゃのスペース毎にお話し頂きました。大人の物と子どもの物を混在させないことがポイントとのこと。

最後に、育児・家事を楽しく乗り切るコツ、ちょっとした工夫でポジティブに考えられるようになる、というお話で締めくくられました。

《感　想》

・家族みんなでお片付けできるよう工夫したい。
・家の環境が子どもに大きく影響するというお話が興味深かった。リビングだけでもすっきりさせたい。
・そこまできれいにしようと思わなくても良いのだと気づきました。
・１日２回リセットは取り入れたいと思いました。
・子ども専用スペースを作り、子ども部屋が散らかっても気にしないようにしたい。

コロナ禍における子育てのヒント

落合第一小学校

実施日時：令和４年 10 月 21 日（金）午前 10:00～11:30　　**開催方法：Zoom**

講師：藤後　悦子（東京未来大学子ども心理学部教授）

《講演概要》

先生が子育て中、思春期に役立ったもの（マッサージ、食事、学校以外の大人との関わり、自分で選択するということ）生涯発達の中の学童期とは？子ども達へのアンケートの結果を用いて、どんな時に親が話・気持ちを聞いてくれると感じたか。親に抗してほしい。しっかり話しを聞く、尊重する、行動する等表現の種類を教えてあげる。保護者について、自分を大切にする、自分を褒める。子どもの問題に一緒になりすぎず、落ち込まない。手伝うというスタンスで。子と親がワクワクする子育て。温かい環境作り。

講演の最後には、申込時に受け付けた質問にお答えいただいた。

《感　想》

・子どもの話を最後まで聞くように気を付けようと反省しました。
・温かい環境づくり、しっかりと子どもの話を聞き、認めることを今後も大事にしていきたい。
・今、悩んでいる問題にぴったり合った内容で、さっそく家庭で行動を起こしてみたいと思った。
・母だけでなく父親・地域の方が参加できるような形での開催方式で多くの方に聞いていただきたい内容
・親として、ドンマイ・大丈夫の声掛けができる気持ちの安定を心掛けたいと思います。
・Zoom 開催について、アーカイブ配信されるといい。
・先生の資料を事前に目を通せたらよかった。
・スムーズな進行で、会場開催と変わらないか、より集中して聞くことができました。

わたしとあなた　気持ちを尊重できる子どもの育て方―ジェンダー平等について一緒に考えようー

落合第四小学校

実施日時：令和４年９月 30 日（金）午前 10:00～12:00　　**会場：落合第四小学校**

講師：久保　なつこ（アウェア認定デートＤＶファシリテーター）　　**コミュニティルーム**

《講演概要》

ＰＰＴスライドや動画を映写しながら非常にわかりやすく話をしていただき、また講師の体験談や思いも大いに盛り込まれた講演でした。

冒頭、自己紹介のあと、動画視聴によりジェンダーバイアスへの気づきを促し、誰もがジェンダーバイアスによる思い込みに縛られていることを実感させてくれました。その後、ＳＤＧｓ目標のひとつであるジェンダー平等とは何か、日本の現状はどうか等についてのお話があり、そこから発展して相手の気持ちを尊重できる子どもを育てるために日々どのようなことに気を付けたらいいのか、具体的な事例を用いて話してくだいました。

質疑応答では、複数の受講者が講師に対して質問や意見、感想を述べ、大変意義のある講座となりました。

《感　想》

コロナの影響を受け小規模人数での開催となりましたが、参加者は熱心に耳を傾けて講師の話を聞いていました。日本においては、数あるＳＤＧｓ目標の中でも達成困難なテーマであり、ジェンダー平等までの道のりは遠いですが、男性のみならず女性の意識も大きく変えていくことが鍵となると感じました。

お小遣い、ケータイ、スマホ、どう教える？～小学生のうちに教えておきたいお金との付き合い方～

淀橋第四小学校

実施日時：令和４年10月１日（土）午前10:00～12:00　　**会場：淀橋第四小学校よどよんルーム**

講師：あんびる　えつこ（生活経済ジャーナリスト・子供のお金を考える会代表）

《講演概要》

１．子どもを取り巻く環境の変化と問題点

成年年齢＝18歳で親の同意なく契約が可能。キャッシュレス決裁など見えないお金が拡大。インターネットでの買い物が増加。小学生からお金との付き合い方を教えること。

２．家庭で育みたい　基本の３つの力。

欲望をコントロールする力、意思決定する力、いろいろな視点で考える力。お金の希少性を理解させること。

３．お小遣い、スマホで鍛える実践力

お小遣いのルールを決め、お小遣い帳でお金の出入りを記録。毎月貯金する習慣をつける。スマホの「我が家ルール」を徹底する。時間の希少性について考えさせること。

４．「生きる力」を育むために

親が全部決まるのではなく、子どもに判断する機会を与え、自分で意思決定する習慣をつけさせる。「生きる力」とは、変化に対応する能力、経験から学ぶ力、批判的な立場で考え行動する力。お金より知恵を使う機会を与えること。

５．質疑応答

通帳とカードの扱い、現金と電子マネーの使い分け、スマホの長時間利用について。

《感　想》

・とても分かりやすかったです。子どもに教えて、話し合ってみたいと思いました。
・近年の状況を知ることができて有意義でした。
・自分自身にもためになるお話でした。
・育み３つの力とその具体的な実践例は大変勉強になりました。
・とても面白く拝聴しました。今度わが家でもカレーゲームをやってみたいです。

子どもの人権とインターネットの利用

西新宿小学校

実施日時：令和 4 年 11 月 24 日（木）午前 9:45～11:45　　**会場：西新宿小学校　ランチルーム**

講師：佐藤　佳弘（武蔵野大学名誉教授・株式会社情報文化総合研究所代表取締役）

《講演概要》

１　ネットに潜む危険

小学生が被害に遭いやすい具体例を交えお話いただきました。

①ネットを悪用した犯罪

ストーカー（自分の日常写真を投稿することで自宅を特定される）、自画撮りの提供、連れまわし（悪い人は別の人になりすまして時間をかけて近づいてくる）等

②ネットでのトラブル

写真無断投稿（友だちと移っている写真を勝手にアップし知らないところでその写真が悪用される）、ネットいじめ、健康被害等

２　ネット被害から守るために

①被害の未然防止

・子どもたちには大人の思う「ネットで知り合った人に会うのは危ない」という認識がない

・スマホ等の利用については子どもと一緒にルールを考え決めるのが有効

・一家庭でスマホ等を使える時間を決めても守るのは難しく、友だち、家庭、クラス、学校単位でルールを決めることが重要（自分だけ守っていても翌日友だちからいじめに遭うこともある）

②早期発見

③被害にあったなら

《感　想》

・大人が思っている以上に身近な問題であり、対策が難しいことを知ることができた。

・スマホ等のルールについて家庭内で決めようと思っていたが、相手あってのコミュニケーションなので守っていくことが難しく、クラス、学校単位で取り組む課題だという「ぐるみ」の考え方に納得させられた。

お小遣い、スマホ、ゲーム課金…どう教える？小学生のうちに教えておきたい　お金との付き合い方

西戸山小学校

実施日時：令和４年 12 月 10 日（土）14:00～16:00　　開催方法：Teams

講師：あんびるえつこ（生活経済ジャーナリスト）

《講演概要》

・今後子どもが生きていく不確実性のある時代に、絶望することなくお金とうまくついあっていく方法について学んだ。

＜今、子どもが置かれた状況＞

・成年年齢の引き下げによって、子どもがお金に責任を持つ時期が早まっている（クレジットカードなど）→学校でのお金・金銭に関する教育時期が早まっている

・電子マネーの普及によりお金が減っている、使ったという感覚がない

＜子どもたちが身につけるべき力＞

・欲望をコントロールする力（何かを選ぶときは何かをあきらめるということに気づくことが必要＝希少性

・意思決定する力

・様々な視点を考える力

《感　想》

・満足。子どもが自分で決定して選び取る、何を選んで何を我慢するか、という経験についてのお話、カレーゲームのお話、が印象に残った。

・満足。希少性はトレードオフであること、お金と時間をどう使うか、親自身も考えさせられました。

保護者のためのＬＧＢＴＱ基礎知識

西早稲田中学校

実施日時：令和４年 10 月 13 日（木）午前 10:00～11:00　　会場：西早稲田中学校　５階多目的室

講師：原島　有史（弁護士）

《講演概要》

・セクシャルマイノリティの説明・セクシャルマイノリティと偏見

・ＬＧＢＴＱに該当する人の割合・学校教育での同性愛に関する取り扱い

・同性間での婚姻に関する政府の見解・ＬＧＢＴＱの家族形成支援

・世界の指数

《感　想》

・大変貴重な講座を受講させていただきました。デリケートなテーマのため、このように弁護士の方から世界の状況も交えて知識を得られたことはよかったです。子どもたちにも聞いてほしいと感じました。

・先日都のパートナーシップ制度のニュースを子どもと見ました。一緒に見られたことでＬＧＢＴＱの話ができましたが、わからないことが多く、今日の講座をとても楽しみにしていました。わかりやすく、子どもと話したいです。

・子どもたちは学校等で知識を得ることが可能ですが、親の学習機会を増やすことが大事だと思いました。

スクールカウンセラーと連携～スクールカウンセラーのあり方、その役割～

新宿中学校

実施日時：令和 4 年 10 月 15 日（土）14:00～15:00　　会場：新宿中学校　けやきホール

講師：新宿中学校養護教諭

《講演概要》

① スクールカウンセラーとの連携について

・子どもたちを支える様々な人材

・対立軸をつくらないことによる効果

・スクールカウンセラーとの連携

② 給食レシピの紹介

③ タイ料理（ガパオライス、ヤムウンセン）のレシピ紹介

《感　想》

・スクールカウンセラーの制度があることは知っていたけれど、子どもだけでなく保護者も利用できることを初めて知りました。

・日頃の子育ての教育の悩みなども気軽に相談できる場所があると知り、一人で悩まなくても良いことを知りました。

・新宿中は他行よりカウンセリング専門の方々が多く来航していただけていることを知り、安心できました。

マジックと音楽と絵本のクリスマスコンサート

四谷子ども園

実施日時：令和 4 年 12 月 10 日（土）午前 9:15～11:15　　会場：四谷子ども園　遊戯室

講師：大友　剛（ミュージシャン・マジシャン・音楽家）

《講演概要》

マジックを披露していただいた後、大友さんが翻訳した有名な絵本「ねこのピート」をはじめとする名作の読み聞かせを行って頂きました。その後、会場にいる子ども、保護者より演奏のリクエストを募り、参加者の希望した曲を大友さんがピアノで、即興で演奏するという企画がありました。思い思いの曲をリクエストし、楽しそうに歌う子どもの様子が見られました。最後に子ども、保護者から大友さんに質問の時間が設けられ、子育ての上で大事なこと、翻訳のニュアンスについて、これからの時代の子育てについて等様々な質問が飛び交っていました。

《感　想》

・面白い会話を織り交ぜたマジックは楽しかったです。絵本もピアノ演奏が途中に入り、子どもが飽きない盛りだくさんの構成でとても楽しんでいたようです。大人も楽しめて参加してよかったです。

・自己肯定感が高い人間になる子育てのお話が参考になりました。理解していても実践はなかなか難しく、家族で話してみたいと思います。帰った後、子どもがジャムの瞬間移動を自宅で披露してくれました。

・大友さんのシュールなトークやリクエストが昭和限定なところがとても面白かったです。

・マジックがとても楽しかった。

・有名な絵本を翻訳したご本人が読み聞かせてくれるというとても贅沢な時間でした。

荒巻シャケさん親子ライブ

あいじつ子ども園

実施日時：令和４年 11 月５日（土）午前 9:30～11:30　　**会場：あいじつ子ども園　体育館**

講師：荒巻シャケ（保育シンガーソングライター）

《講演概要》

保育士経験もあるシンガーソングライターの荒巻シャケさんをお迎えして、親子で楽しめるライブ・ふれ合い遊びの会を開催しました。シャケさんオリジナルの手遊び歌で親子一緒に体を動かしたり、パネルシアターを楽しんだりしました。それぞれの演目の中で「子どもは興味を持っていないように見えても耳だけ聞いていたりする」「子どもはこういう動き一つでとても喜ぶ」というような、日頃の生活の中でも生かせるような親子で触れ合う際のポイントなどもレクチャーしていただきました。

内容はシャケさんにすべてお任せしましたが、0・1・2 歳児のクラスごとに年齢に合った演目を披露してくださいました。

《感　想》

土曜日にもかかわらず、クラスの８割近い方にご参加いただきました。小さい子供たちが屋内で自由に安全に動き回れる場をまずは喜んでいただけたように思います。

広い体育館で子どもたちが自由に動き回って楽しむことができた点がよかった。講師の先生が親しみやすく、子どもが楽しめる工夫がたくさんあって良かった。親子で運動できる機会が持てて良かった。

今、子育てで大切なこと
これってワガママ？それとも成長？
～子育てのヒントは日常に～

私立戸山幼稚園

実施日時：令和４年６月 24 日（金）午前 9:30～11:30　　**会場：戸山生涯学習館**

講師：髙橋　かほる（帝京短期大学教授）

《講演概要》

大きなテーマが 11 個あり、参加者の意見を聞いて関心を持っているテーマを中心に講演をしていただいた。その中で（１）０歳から６歳までの発達の連続性についての大まかな説明があり、参加者の中でワガママと自己主張の違いは何かを討議した。また、（２）昨今の幼稚園の教育要領の中で求められている”非認知能力“と”認知能力“とは何か、それをどうやったら育んでいくことができるのか、これも参加者と討議しながら話し合いを行って、先生の講演の理解を深めていった。

先生の幼児教育の実践から、“セルフトーク”の大切さ、子どもに直接的に問いかけたり投げかけたりするよりも、独り言のように、押し付けずに投げかけることの大切さを学んだ。さらに、子どもよりも半年歳上くらいの心持ちでいると良いというお話もあった。

《感想》

・自分自身の時間軸が中心になっていたことに気づきました。

・私が目にしている子どもの姿は氷山の一角に過ぎず、どのようなものが広がっているか、潜って確かめることはできないけれど、傾聴力を大切にして見えざる子どもの心を大切にして、見つめることができるのかが重要だと感じました。

・先生のお話の中でこれから実践していこうと思ったことが盛りだくさんでした。「適切な問い」ができるように頑張りたいです。

・子どもより半年上になったつもりで…というお話が目からうろこでした。日に日に生意気になっていく年長さんに悩むこともありますが「ちゃんと成長している！」と実感しながら寄り添っていきたいです。

自然観察会

私立戸山幼稚園

実施日時：令和 4 年 11 月 17 日（木）午前 9:30～12:00　　**会場：戸山幼稚園～箱根山周辺**

講師：佐々木　洋（プロナチュラリスト）

《講演概要》

箱根山に住む鳥の声に耳を澄ませ、それぞれの鳥の鳴き声で鳥の名所を佐々木先生が説明してくださった。幼稚園の建物に産み付けたクモの卵（春になって少なくとも 100 匹以上が孵化する）について、忍者のように枯れ葉に化けている蛾の観察、どんぐりの木の説明など、幼稚園近隣の空きの時期の自然についての説明を受けた。年長組の時には鷹が鳩の狩りに来ていたようで、プロが目にしたその瞬間の動物たちの攻防も観察できたとのことだった。年長組になると先生の話の理解度も高く、また次回開催するのであれば質問の時間を設けてもいいのではという提案を先生からいただいた。

《感　想》

年少クラスは先生の話を理解して楽しむことまでは難しかったようだが、年中年長クラスはかなり集中して先生の説明を聞くことができていた。また、毎年実施しているため自然観察を楽しみにしている子どもも少なからずいた。普段は好き勝手している子ども達が、先生の話は静かに聞いて質問している姿がとても印象的だった。プロでないと気づかない自然の営みを知る機会を得て、箱根山の自然を知ることのできる機会となった有意義な時間だった。

令和４年度
家庭教育講座　記録集

新宿区教育委員会事務局教育支援課
地域連携・家庭教育推進係
電話　０３（３２３２）１０７８